

別紙1-1 研修の科目及び内容（基礎課程）

計18時間

| 科目記号・科目名 | 項目名 | 目的及び内容例 |
|------------------------------|-------------------------|---|
| I 講義 5時間 | | |
| 1 重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義（2時間） | (1) 重度訪問介護の制度とサービス（1時間） | (目的) ・重度訪問介護の制度とサービス、その役割や位置づけについて理解する。 (内容) ・障がい者福祉の背景と動向 ・障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の概要 ・重度訪問介護の制度とサービス 等 |
| | (2) 重度訪問介護利用者の理解（1時間） | (目的) ・重度訪問介護利用者及びその地域生活の支援について理解する。 (内容) ・重度訪問介護利用者の障がい・疾病 ・重度訪問介護利用者の心理 ・重度訪問介護利用者の地域生活 ・重度訪問介護利用者の社会参加 ・重度訪問介護従事者の職業倫理 等 |
| 2 基礎的な介護技術に関する講義（1時間） | | (目的) ・基礎的な介護技術について理解する。 (内容) ・介護の目的、機能と基本原則 ・介護ニーズと基本的対応 ・在宅介護の特徴とすすめ方 ・福祉用具の基礎知識と活用 ・介護者の健康管理 等 |
| 3 人権啓発に関する知識（2時間） | | (目的) ・障がい者の人権についての理解を深める。 (内容) ・障がい者の人権 ・権利擁護制度 等 |

| 科目記号・科目名 | 項目名 | 目的及び内容例 |
|---|------------------------|--|
| II 演習 6時間 | | |
| 4 基礎的な介護技術に関する演習（6時間） | (1) 抱きかかえ方及び移乗の方法（1時間） | (目的) ・抱きかかえ方や移乗の方法を習得する。 (内容) ・床と車いす間の移乗 ・ベットと車いす間の移乗 ・2人の介助者で行う場合 ・自動車への乗降介助 等 |
| | (2) 車いすの移動介助（2時間） | (目的) ・車いすでの移動を介助する場合の車いすの取り扱い方や平地、階段での移動方法などを習得する。 (内容) ・車いすの取り扱い方 ・車いす移動介助における注意 ・姿勢保持について ・平地での移動 ・階段における移動 ・エレベーター、エスカレーターの利用 ・乗り物を利用する場合の注意 ・雨天時の移動 ・歩行移動介助方法の留意点 等 |
| | (3) 生活行為の介助（3時間） | (目的) ・排泄、食事、衣服の着脱等生活行為の介助方法を習得する。 (内容) ・食事の介助方法 ・衣服着脱の介助方法 ・排泄の介助方法 ・入浴の介助方法 等 |
| II 実習 7時間 ※実習に先立ち、オリエンテーションを実施すること。 | | |
| 5 基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習（5時間） | | ・肢体不自由者の介護現場を体験する。 ・肢体不自由者とのコミュニケーションを体験する。 ※全身性障がい者(児)当事者を含めた演習方式で実施することも可。 |
| 6 外出時の介護技術に関する実習（2時間） | | ・外出時の付き添い方法を体験する。 ※原則として屋外への外出を体験すること ※全身性障がい者(児)当事者を含めた演習方式で実施することも可。 |

別紙1-2 研修の科目及び内容（追加課程）

計12時間

| 科目記号・科目名 | 項目名 | 目的及び内容例 |
|---|-----|--|
| I 講義 8時間 | | |
| 1 医療的ケアを必要とする重度訪問介護利用者の障がい及び支援に関する講義（4時間） | | <p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務において直面する頻度の高い障がい・疾病について理解するとともに、介護職としての支援の方法を理解する。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由者(児)の原因疾患及び症状の理解 ・医療・看護との連携の必要性 ・非医行為の範囲 ・医療機器、医療用具の使用目的や使用上の留意点 ・辱そう予防に関する基礎的な理解 ・介護におけるリハビリテーションの視点 ・ターミナルケアの考え方 等 |
| 2 コミュニケーションの技術に関する講義（2時間） | | <p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション技術について理解する。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者理解と共感、受容 ・言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション ・重度肢体不自由者とのコミュニケーションの方法 |
| 3 緊急時の対応及び危険防止に関する講義（2時間） | | <p>(目的)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時における対応及び危険防止のための留意点等について理解する。 <p>(内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時における連絡・連携と介護職員の役割 ・事故防止のための留意点 ・事故時の対策 ・安全な食事介助 ・介助者自身の体の保護 等 |
| II 実習 4時間 ※実習に先立ち、オリエンテーションを実施すること。 | | |
| 4 重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習（4時間） | | <ul style="list-style-type: none"> ・重度肢体不自由者の介護を体験する。 <p>※全身性障がい者(児)当事者を含めた演習方式で実施することも可。</p> |

別紙1-3 研修の科目及び内容（統合課程）

計30時間

| 科目記号・科目名 | 項目名 | 目的及び内容例 |
|------------------------------|-------------------------|---|
| I 講義 5時間 | | |
| 1 重度の肢体不自由者の地域生活等に関する講義（2時間） | (1) 重度訪問介護の制度とサービス（1時間） | (目的) ・重度訪問介護の制度とサービス、その役割や位置づけについて理解する。 (内容) ・障がい者福祉の背景と動向 ・障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の概要 ・重度訪問介護の制度とサービス 等 |
| | (2) 重度訪問介護利用者の理解（1時間） | (目的) ・重度訪問介護利用者及びその地域生活の支援について理解する。 (内容) ・重度訪問介護利用者の障がい・疾病 ・重度訪問介護利用者の心理 ・重度訪問介護利用者の地域生活 ・重度訪問介護利用者の社会参加 ・重度訪問介護従事者の職業倫理 等 |
| 2 基礎的な介護技術に関する講義（1時間） | | (目的) ・基礎的な介護技術について理解する。 (内容) ・介護の目的、機能と基本原則 ・介護ニーズと基本的対応 ・在宅介護の特徴とすすめ方 ・福祉用具の基礎知識と活用 ・介護者の健康管理 等 |
| 3 人権啓発に関する知識（2時間） | | (目的) ・障がい者の人権についての理解を深める。 (内容) ・障がい者の人権 ・権利擁護制度 等 |

| 科目記号・科目名 | 項目名 | 目的及び内容例 |
|--|-----|--|
| 4 コミュニケーションの技術に関する講義（2時間） | | (目的) ・コミュニケーション技術について理解する。 (内容) ・他者理解と共感、受容 ・言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション ・重度肢体不自由者とのコミュニケーションの方法 |
| 5 喀痰吸引を必要とする重度障がい者の障がいと支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義①（3時間） | | (目的) ・喀痰吸引を必要とする重度訪問介護利用者の障がい及び支援と緊急時の対応及び危険防止について理解する。 (内容) ・呼吸について ・呼吸異常時の症状、緊急時対応 ・人工呼吸器について ・人工呼吸器に係る緊急時対応 ・喀痰吸引概説 ・口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内部の吸引 ・喀痰吸引のリスク、中止要件、緊急時対応 ・喀痰吸引の手順、留意点 等 |
| 6 経管栄養を必要とする重度障がい者の障がいと支援に関する講義・緊急時の対応及び危険防止に関する講義②（3時間） | | (目的) ・経管栄養を必要とする重度訪問介護利用者の障がい及び支援と緊急時の対応及び危険防止について理解する。 (内容) ・健康状態の把握 ・食と排泄（消化）について ・経管栄養概説 ・胃ろう（腸ろう）と経鼻経管栄養 ・経管栄養のリスク、中止要件、緊急時対応 ・経管栄養の手順、留意点 等 |

| 科目記号・科目名 | 項目名 | 目的及び内容例 |
|------------------------|------------------------|--|
| II 演習 8時間 | | |
| 7 基礎的な介護技術に関する演習 (6時間) | (1)抱きかかえ方及び移乗の方法 (1時間) | (目的) ・抱きかかえ方や移乗の方法を習得する。 (内容) ・床と車いす間の移乗 ・ベットと車いす間の移乗 ・2人の介助者で行う場合 ・自動車への乗降介助 等 |
| | (2)車いすの移動介助 (2時間) | (目的) ・車いすでの移動を介助する場合の車いすの取り扱い方や平地、階段での移動方法などを習得する。 (内容) ・車いすの取り扱い方 ・車いす移動介助における注意 ・姿勢保持について ・平地での移動 ・階段における移動 ・エレベーター、エスカレーターの利用 ・乗り物を利用する場合の注意 ・雨天時の移動 ・歩行移動介助方法の留意点 等 |
| | (3)生活行為の介助 (3時間) | (目的) ・排泄、食事、衣服の着脱等生活行為の介助方法を習得する。 (内容) ・食事の介助方法 ・衣服着脱の介助方法 ・排泄の介助方法 ・入浴の介助方法 等 |
| 8 喀痰吸引等に関する演習 (2時間) | | (目的) ・喀痰吸引及び経管栄養の方法を習得する。 (内容) ・喀痰吸引 (口腔内) ・喀痰吸引 (鼻腔内) ・喀痰吸引 (気管カニューレ内部) ・経管栄養 (胃ろう・腸ろう) ・経管栄養 (経鼻) |

| 科目記号・科目名 | 項目名 | 目的及び内容例 |
|--|-----|--|
| III 実習 9時間 | | |
| ※実習に先立ち、オリエンテーションを実施すること。 | | |
| 9 基礎的な介護と重度の肢体不自由者とのコミュニケーションの技術に関する実習 (3時間) | | ・肢体不自由者の介護現場を体験する。 ・肢体不自由者とのコミュニケーションを体験する。 ※全身性障がい者(児)当事者を含めた演習方式で実施することも可。 |
| 10 外出時の介護技術に関する実習 (2時間) | | ・外出時の付き添い方法を体験する。 ※原則として屋外への外出を体験すること ※全身性障がい者(児)当事者を含めた演習方式で実施することも可。 |
| 11 重度の肢体不自由者の介護サービス提供現場での実習 (4時間) | | ・重度肢体不自由者の介護を体験する。 ※全身性障がい者(児)当事者を含めた演習方式で実施することも可。 |

別紙1-4 研修の科目及び内容（行動障がい支援課程）

計14時間

| 科目記号・科目名 | 項目名 | 目的及び内容例 |
|------------------------------------|-----------------|--|
| I 講義 8.5時間 | | |
| 1 強度行動障がいがある者の基本的理解 (1.5時間) | ①強度行動障がいとは | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本研修の対象となる行動障がい ・ 強度行動障がいの定義 ・ 強度行動障がい支援の歴史的な流れ ・ 知的障がい／自閉症／精神障がいとは ・ 行動障がいと家族の生活の理解 ・ 危機管理・緊急時の対応 |
| | ②強度行動障がいと医療 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 強度行動障がいと精神科の診断 ・ 強度行動障がいと医療的アプローチ ・ 福祉と医療の連携 |
| 2 強度行動障がいに関する制度及び支援技術の基本的な知識 (5時間) | ③強度行動障がいと制度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立支援給付と行動障がい / 他 (例) 支援区分と行動関連項目・重度訪問介護の対象拡大・発達障がい者支援体制整備・強度行動障がい支援者養成研修 |
| | ④構造化 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 構造化の考え方 ・ 構造化の基本と手法 ・ 構造化に基づく支援のアイデア |
| | ⑤支援の基本的な枠組みと記録 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援の基本的な枠組み ・ 支援の基本的なプロセス ・ アセスメント票と支援の手順書の理解 ・ 記録方法とチームプレイの仕掛け |
| | ⑥虐待防止と身体拘束 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 虐待防止法と身体拘束について ・ 強度行動障がいと虐待 |
| | ⑦実践報告 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童期における支援の実際 ・ 成人期における支援の実際 |
| 3 人権啓発に関する知識 (2時間) | ⑧障がい者の人権についての理解 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者の人権 ・ 権利擁護制度 等 |

| 科目記号・科目名 | 項目名 | 目的及び内容例 |
|-----------------------------------|-----------------|--|
| II 演習 5.5時間 | | |
| 1 基本的な情報収集と記録等の共有 (1時間) | ①情報収集とチームプレイの基本 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の入手とその方法 ・ 記録とそのまとめ方と情報共有 ・ アセスメントとは |
| 2 行動障がいがある者の固有のコミュニケーションの理解 (3時間) | ②固有のコミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々なコミュニケーション方法 ・ コミュニケーションの理解と表出 ・ グループ討議／まとめ |
| 3 行動障がいの背景にある特性の理解 (1.5時間) | ③行動障がいの背景にあるもの | <ul style="list-style-type: none"> ・ 感覚・知覚の特異性と障がい特性 ・ 行動障がいを理解する冰山モデル ・ グループ討議／まとめ |